

福島小ナウ

不審者が教室に入ってきたら…



福島小学校では、毎年岡山南警察署のスクールサポーターを講師に、不審者が校内に侵入した時を想定した避難訓練を行っています。教職員が担任役や児童役、応援役等を交代しながら、不審者への対応の仕方や児童への避難の指示の仕方を研修しています。

9月26日（火）は、不審者が教室に入ってきたことを想定した避難訓練を行いました。不審者にふんした教職員が入ってきた教室では、子供たちは担任の先生の指示に従って、不審者から距離を取りながら、逃げることができました。

また、連絡を受けた職員室では、警察に通報するとともに、不審者が侵入したことを校内放送で全校に伝えました。放送を聞いた校内の教職員は、児童の安全を確保する者と不審者がいる教室に駆けつける者とに分かれて訓練を行い、無事に制圧することができました。

訓練の最後に、私から不審者と距離を取ることの大切さについて話をしました。教室に入ってきたら、自分と不審者の間に机やイスを置いて、近づかせないようにすること。また、放送があったら、どこに不審者がいるのかななどの情報をしっかりと聞くことや、場合によっては、教室に鍵をかけたり、机やイスでバリケードを作ったりして、入って来られないようにすることについても話しました。

地域の子供は地域で育てる

9月17日（日）は、福島学区体育祭がありました。入道雲も出ていて、まだまだ夏真っ盛りの天候でしたが、福島小の子供たちもたくさん参加していました。

また、中学生は競技に参加するだけでなく、放送や準備の係として、体育祭の運営にも関わって大活躍していました。中学生一人一人が自分の役割を自覚してきびきびと働く姿や、地域の方からの急な依頼にも笑顔で応えて主体的に動く姿に感動しました。

今年度の全国学習状況調査の結果では、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」や「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」の質問に対する肯定的な意見が、福島小の子供たちは全国の平均値と比べてとても高くなっています。

このことは、参加したくなる魅力的な行事が地域にあるというだけでなく、行事の中に子供たちの役割があり、自己有用感が満たされているからだと思います。これからも、福島学区の方々と一緒に、「地域の子供は地域で育てる」という思いを大切にしながら、学校教育に取り組んでいきたいと思っています。



学校だより

2023年10月17日

第12号

岡山市立福島小学校
校長 竹信 弘司

福島小ナウ

日中は、まだまだ夏日に近い気温になりますが、登校時には肌寒く感じる季節となりました。子供たちの服装はこの時期ならではの、半そでポロシャツを着ている子供もいれば、長袖のスクールセーターや制服の上着を着ている子供もいます。保健だよりでもお知らせしましたが、気温や体調に合わせて、子供自身が服装を判断できるというです。



安全に登下校するために

12日（木）朝、登校してくる子供たちに挨拶しようと正門に向かったところ、横断歩道の手前にストップマークが設置してありました。子供たちもすぐに気がついて、「パンダが描いてある！」と喜んでいました。福島学区交通安全対策協議会の周藤会長さんにお尋ねしたところ、1学期に実施した通学路点検検査で上がってきた要望書をもとに、福島学区の複数個所にストップマークを順次設置していただけるそうです。他にも、白線が新しくなったところもあり、子供たちだけでなく、福島学区の全ての人が安心安全に暮らしていくための整備が進んでいることをうれしく思いました。



また、秋の交通安全週間で子供たちの登校を見守ってくださった保護者の中からは、「子供たちがあまり挨拶をしない。」という声が聞こえてきました。気持ちの良い挨拶をすることで、安全に登下校できることの感謝の気持ちを、保護者や地域の方にしっかりと伝えられるように、引き続き子供たちに投げかけていきたいと思えます。

22日（日）は運動会です

2日（月）の代表委員会で、今年度の運動会のスローガンが決まりました。

「心をついに ベストをつくそう」です。

少ない練習時間ですが、子供たちは毎日練習を頑張っています。観覧の仕方は昨年同様、トラックの周りは競技や演技を行う学年の保護者優先で、演目が終わると入れ替わっていただきます。福島小学校の運動場は広いので、トラックの周りでなければ、最初から最後までご覧いただいても構いません。地域の方にも、観覧をお誘いしています。運動会当日は、子供たちのかわいらしいダンスや力強い走りに、温かい声援をよろしくお願ひします。

「伝える力は大切です」 ～ほっと ひといき ②～

本校に来てくださっている、スクールカウンセラー佐田先生のコラム第2弾です。「みなさんは、自分から「助けてほしい。」「不安なんだ。」など、SOSを出すことはありますか？みなさんの中には「助けてほしい。」と言うのは、負ける感じがする、言わないほうがいいと思っている人はいませんか？そんなことはないんですよ。「助けてほしい。」という自分の気持ちを誰かに伝えることができるのは、自分の気持ちや体調の変化に気づきやすい、自分の気持ちを表現できるなど、素晴らしい能力をもっていることなんですよ。不安なとき、しんどいとき、困ったときは「助けてほしい。」「不安なんだ。」という気持ちを家族・先生・友達に伝えて、力をかしてもらいましょう。きっと、うまくいきますよ。」



福島小ナウ

たくさんのご声援、ありがとうございました



22日(日)は雲一つない秋晴れで、絶好の運動会日和でした。準備運動の「ラジオ体操第一」が終わって、中学年の演技からスタートしました。トラックを使ったリレーにも、ロックソーラン節を軸にした表現にも、中学年らしい元気いっぱいの子供たちの姿がありました。

次に演技したのは低学年でした。2つのコーンを回るリレーや「ダンスホール」の曲に合わせて踊る子供たちはとても可愛らしかったです。そして、最後を飾るのは高学年。走りの力強さや速さに、下学年の子供たちは圧倒されていました。また、表現「夢～動き出せ！なりたい自分へ！～」では、一人一人の演技や全員がそろっての演技が、BGMの「花」と相まって大きな感動を生んでいました。

秋の運動会では、練習を通して相手を思いやり、力を合わせるこの大切さを考えさせたりして、学年や学級の集団としての力を育てます。「天高く馬肥ゆる秋」ですが、いろいろな行事を経験することで、体だけでなく心も大きく成長していくことを願っています。



就学時健康診断を行いました

25日(水)は、来年度1年生になる園児と保護者を迎えて、就学時健康診断を行いました。この健康診断は、小学校で学校生活を送るための準備として、心身の健康状態を確かめ、疾病等があれば早めに治療につなげるための大切な検診となります。

私からは、入学までに身に付けてほしいこととして、「生活リズムを整えること」「体力をつけること」「健康でいること」について話しました。ここで健康診断を受けたほとんどの子供たちは、来年度福島小学校へと入学してきます。4月になって、かわいい1年生に会えることを楽しみにしています。

通級指導教室って、どんなところ？

福島小学校には、3つの通級指導教室があります。この教室で子供たちは、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なことを頑張ったりしています。

今回は、一人一人が別々に学習した後、私も「もじぴったん」というゲームに参加しました。このゲームでは、1人が7枚の文字カードを持っていて、机の上の台紙に自分のカードを置いて文字をつないでいくことで言葉を作っていきます。競争ではないので、友達と協力しながら、仲良くいろいろな言葉を作っていました。子供たちは遊びながら語彙を増やすだけでなく、友達とのコミュニケーション力も高めることができるので、とても工夫された学習だと感じました。



何より、学習しているときの子供たちの笑顔がとても印象的でした。